

林業福島

No. **611**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



7

2015

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■尾瀬で出会った天使



新任あいさつ

福島県森林組合連合会
代表理事会長 秋 元 公 夫

去る五月二八日の理事会において、代表理事会長に選任されました秋元公夫です。

よろしくお願い申し上げます。

大震災から四年が経過いたしました。原子力災害は未だに予断を許さない状況が続いており、今なお多くの組合員が避難生活を余儀なくされ大変なご苦労、そしてご心労をかけていると思います。

さて、地球温暖化防止や国土保全等多面的な機能を有する森林に対する国民の期待はますます高まっていますが、森林を支える林業の構造的な厳しさは一段と増し、山村社会はまさに危機的状況にあり、持続可能な林業経営が可能な立木価格の実現が喫緊の課題となっております。

平成二七年度は福島県森林組合連合会第四次経営改善三ヶ年計画の最終年度に当たり、当該計画の成否に係る重要な年度と位置づけております。

さらに、県予算等では大規模な森林整備予算が計上されており、年度前半には立木賠償の開始も見込まれ、森林・林業の復興再生が本格化するものと考えております。

このため、当連合会を初め、森林組合系統の存在意義を問われる年となることから、関係事業の円滑な実施促進に向け、機械化や労務、運転資金など森林組合の経営基盤充実に向けた支援を強化するとともに、事業に伴う木材集出荷体制や放射性物質の検査体制などの整備を検討してまいります。

併せて、制度仕組みの改善に向けた意見や木材の有効活用による今後の本県林業のあり方の提言なども事業の進捗状況を見ながら行なってまいります。

さらに、立木賠償請求において、森林組合及び森林所有者の過度な負担とならないよう、かつ円滑な実施が担保されるよう、引き続き東京電力(株)及び関係機関と調整を図ってまいります。

また、復興に向けた様々なご支援の申し出を頂いておりますので、こうした御支援を有効に活用させて頂きながら、役員一丸となって経営改善と積極的な事業運営に努めてまいりますので、関係各位の御支援を引き続きお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	魚道付き治山ダム……………	7
新任あいさつ	「自然に親しむ」……………	8
福島県森林組合連合会 代表理事会長 秋元 公夫…	普及指導員通信……………	9
トピックス	森連だより……………	10
海岸防災林合同植樹式……………	公社だより……………	11
全国植樹祭……………	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
全国林業後継者大会……………	はなしのひろば……………	13
森と市民を結ぶ全国の集い……………		5～6

海岸防災林合同植樹式を開催

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

平成二七年六月六日(土)、相馬市磯部字大洲地区において、東日本



参加者全員の記念写真

大震災の津波で流失した海岸防災林の再生に向け、平成二六年度に海岸防災林の植樹活動に関する協定を締結したNPO・企業等五団体と関係者が一堂に会し合同植樹式を行いました。

式典では福島県副知事が「美しい景観を取戻し、復興のさらなる前進につながり、新たな名勝となることを期待します。」と挨拶を述べられました。続いて植樹式会場の海岸防災林土地所有者である相馬市長、最後に植樹者を代表して福島県森林土木建設業協会長が挨拶を述べられました。

植樹に用いた苗木は、松くい虫に対して抵抗性のあるクロマツで、五月の全国植樹祭で、開催県の石川県から福島県に寄贈された高さ七〇センチメートルの三年生不織ポット苗一、〇〇〇本と、緑地創造研究会苗木プロジェクト共同企業体が、ヤマト福祉財団の「東日本大震災生活・産業基盤復興再生基金」を活用して

生産した高さ三〇センチ内外のコンテナ苗四、〇〇〇本です。

式典後参加者全員で集合記念写真撮影、その後、〇・五四畝の敷地に植樹しました。植樹にはNPO・企業等のご家族や地域のみなど保育園の園児を含めて総勢二五〇人が参加しました。

植樹場所は、「白砂青松」の景勝地としてたたえられ、震災前は多く



森づくり団体による植樹活動

の観光客等で賑わっていたところで、す。

植樹に参加した全員が二〇年後、三〇年後さらには一〇〇年後のクロマツ林を想像し、無事に生育してくれることを願いながら、一本一本心を込めて丁寧に植樹しました。特に大勢の保育園児たちは、移植ペラをしっかりと持って、とても楽しそうに植樹していた姿が印象的でした。



楽しく植樹するみなと保育園の園児

第六六回全国植樹祭

いしかわ2015

（公社）福島県森林・林業・緑化協会

平成二七年五月十七日（日）、第六六回全国植樹祭が石川県小松市三谷町の木場潟公園を式典会場に、全国から約一万五千人の緑化運動関係者が集い開催されました。（他に県内三ヶ所にサテライト会場を設置）

式典会場となった木場潟公園は、昭和五七年に設置された都市公園で、県内の潟としては唯一元来のままの姿をとどめており、「いしかわの自然百景」に選定されているほか、「美しい日本の歩きたくなるみち五〇〇選」に「水郷公園・木場潟を巡るみち」として認定されています。今年全国植樹祭は、テーマである「木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森」の理念をわかりやすく伝え、現代に生きる私たち一人ひとりの具体的な行動と森づくりとのつながりを強調しながら、森林資源の活用を通じた県民参加による新たな森づくりを全国に発信するとともに、豊かな森林に育まれる里山、里海の利用保全に向けた取り組みや

木とともに生きる伝統文化を全国にアピールする機会となりました。

式典の冒頭では、東日本大震災復興支援として、東日本大震災により失われた海岸防災

林等の再生を支援

するため、石川県

知事から東北三

県、岩手県、宮城

県、福島県の代表

者（福島県は当協

会の齋藤卓夫会

長）に石川県で生

産した抵抗性クロ

マツの苗木一、〇〇本が贈呈されました。

午前中の式典で

は、天皇后両陛下

下によるお手植

え、お手播きがあり、天皇陛下は石川県の抵抗性クロマツ、ケヤキ（え



植樹会場での植樹活動



石川県知事から当協会会長へのクロマツ苗木の贈呈

びすケヤキ）、スギ（日用スギ）の三種を、皇后陛下はアカマツ（抵抗性）、ケンロクエンキクザクラ、ヤマモミジの三種をお手植えされ、また、天皇陛下がアテ（ヒノキアスナロ）、クヌギの二種を、皇后陛下はヤマザクラ、トチノキの二種をお手播きされました。

植樹行事以外では、木を活かした石川の祭りや芸能を映像や実演で披露し、表彰式、次回の全国植樹祭開催地の長野県へのリレーセレモニー等が行われました。

平成三〇年福島県開催の「第六九回全国植樹祭」に向けて、本県の震災・津波及び原発事故からの復旧・復興を全国にアピールできるよう、これまで以上に森林づくりに対する機運醸成を図っていくとともに、緑化活動の普及啓発、推進に努めてまいります。

第44回全国林業後継者大会が

石川県で開催される

福島県林研グループ連絡協議会

平成二七年五月十六日(土)、第
四四回全国林業後継者大会が全国植
樹祭の関連行事として石川県加賀市
山中温泉において、「次代につなぐ
森の力・木の魅力」を大会テーマに
約一、〇〇〇名の参加者を得て開催
されました。

この大会は、全国の森林・林業関
係者が一堂に会し、森林・林業の重
要性について意見交換するとともに
に、木の文化の継承や輝ける森林・
林業の姿を発信するため開催された
もので、第一回は昭和四五年福島県
磐梯青年の家を会場に開催され、以
後全国植樹祭の前日に開催されるこ
とが慣例となっています。

大会本会は、「山中温泉文化会館
大ホール」を会場に記念式典が行わ
れた後、小松製作所から「地域の連
携による林業活性化と地域振興」と
題した基調講演と、成澤由浩氏(N
ARISAWAオーナーシェフ)と

稲本正氏(オークヴェレッジ代表)
による「森とともに生きる―森を活
かす―」と題したトークセッション
が行われ、最後に「私たち一人ひと
りが豊かな森林づくりに取り組むこ
とを誓う」大会宣言が盛大な拍手で
採択されました。

基調講演では、小松製作所から木
質バイオマス発電を契機に、地元森
林組合と県内製造業と連携した取組
が紹介され、これからの森林・林業
の振興を図る上で大変貴重なお話で
した。また、トークセッションでは、
素材を活かした木工製品を制作する
稲本氏からは木をたたくと種類に
よって音程が異なることの実演や、
里山料理を創作する成澤氏からは木
の実を使った料理やけやきの皮を入
れたスープなどをモニターに映して
紹介するなど、森の恵みの活かし方
には多彩な方法があることに感心し
ました。

大会分会は、山中温泉全域を
フィールドとして、パネルディス
カッション、伐木チャンピオンシッ
プデモ、全国的に有名な山中漆器の
木地製造とろくろ実演の見学など六
カ所で分会会議が設けられ、地元
街中ガイドも協力し、山中温泉の情
緒をかもしだしていました。「山中
座」で行われたパネルディスカッ
ションでは、「山に入ろう―山の魅
力・木の魅力再発見―」をテーマに
若手林業家六名が、豊かな森林の恵
みを活かす取り組みを紹介しなが
ら、森林や木の魅力、森林・木の文
化の継承など熱心に討議されまし
た。

本大会は、約四〇〇名が参加した
交歓の夕べを始めとして森林・林業
関係者の活発な情報交換に加え、地
元からの協力を受け地域の魅力も十
分に発信することができた大変有意
義な大会でした。

平成三〇年に本県開催が予定され
ている全国植樹祭の関連行事として
開催される全国林業後継者大会は、
森林・林業関係者が参加を楽しみに
している大会でもありますので、本
県の森林・林業の再生を全国に力強
く発信できるようしっかりと取り組ん
でいく必要があるものと思いました。



大会宣言の朗読



パネルディスカッション風景

森林と市民を結ぶ全国の集い

2015 in 福島を開催

実行委員会事務局

（NPO法人いわきの森に親しむ会）
フクシマ環境未来基地

平成二十七年六月十二日（金）～十四日（日）の三日間、森林と市民を結ぶ全国の集い2015 in 福島を開催しました。全体テーマは、「東北復興に果たす森林の役割と市民活動」とし、福島県内四つのエクスカージョンとふくしま県民の森フォレストパークあだたらでの全体会を行いました。県内、全国から一〇九人の参加を得て開催いたしました。

【開催趣旨】

「森林と市民を結ぶ全国の集い」は、都市に生活する一般市民が主体となった森づくり活動の輪をひろげることなどを目指し、幅広い市民が集い交流する場として、一九九五年に発生した阪神淡路大震災直後の市民による被災地支援活動の高まりを契機として、その翌年に初めて東京で開催され、その後開催地が地方と東京とでほぼ毎年実施してきました。二〇一一年の東日本大震災は、被災した東北地方に甚大な被害を及ぼすとともに、これからの人々の暮らしのあり方について様々な課題を提示しました。

今回の森林と市民を結ぶ全国の集い2015 in 福島では、復興に向けて今も大きな困難（地震、津波、原発、風評等）に直面している福島県の現実を学び、地域の発展に森林がどのような役割を果たすことができるのか、福島

県の復興に向けて、森林ができることと、私たちができることは何かを全国の仲間と共に考える機会としました。

活動概要

①エクスカージョン（六月十二日～十三日昼）

エクスカージョンでは、いわき地区、県南地区、相双地区、会津地区の四つの地区に分かれそれぞれの地区の特徴や現在の課題を見て回りました。各コースは、次のような内容で行いました。

コース1

いわき地区
（いわき市）

テーマ…市民参加による里山再生と森林環境教育の取



いわき地区エクスカージョンの様子

り組み

内容…

- ・津波被災海岸防災林の視察と植樹活動
- ・里山再生整備の現場の視察（いわき金成公園岩出の郷、プロ野球の森）
- ・湯の岳山荘周辺の森における自然体験コース視察
- ・栗園跡地再生整備状況の視察
- ・NPO法人いわきの森に親しむ会の活動状況報告と意見交換会

コース2 県南地区

（白河市、西郷村周辺）

テーマ…大規模開発跡地の市民による再生の森づくり

地域住民の手により震災後放置され荒れた里山の再生整備について

内容…

白河市白坂里山再生整備状況視察
スキー場跡地である赤面山現地視察
県南、木もれび倶楽部と福島県緑の協力隊についての紹介、意見交換



県南地区エクスカージョンの様子

コース3 相双地区

（相馬市、南相馬市周辺）

テーマ…海岸防災林復旧への取組と原発事故の対応
津波により被災した海岸防災林等の復旧工事の実施状況を調査する
内容…

津波により被災した相馬市や南相馬市の海岸で復旧の進め方の調査、植樹を体験

- ・原発事故により汚染された農地等の除染の現状を知る
- ・「南相馬ソーラーアグリパワー」の視察
- ・意見交換会



相双地区エクスカージョンの様子

コース4 会津地区

（会津若松市周辺）

テーマ…自然エネルギーの里と森林づくり

内容…

美しい背あぶりの森をつくる会
活動地「悠遊の森」視察



会津地区エクスカージョンの様子

二日目の全体会

二日目の午後からは全グループが

- ・木質バイオ発電所見学
- ・背あぶり山「風力発電所」見学（福島県会津若松市）
- ・背あぶり山散策と市民による森づくりの活動状況紹介
- ・意見交換会

フォレストパークあだたらに集合し、全体会を行いました。

フォレストパークあだたらに到着後、まずは各エクスカージョンで振り返りと視察内容、学んだことを整理しました。その後、フォレストパークあだたらでの視察を行い、震災後の利用状況や除染の状況などについて学びました。

・エクスカージョン報告

今回の全国の集いでは、県内、関東の大学生を中心とした若者が「若者レポーター」となって、全体会でのエクスカージョンの報告を担ってもらいました。若者たちは他の参加者の感想なども聞きながらそれぞれのエクスカージョンの報告を行いました。



エクスカージョン報告の様子

懇親会

夜は懇親会の時間もありました。全国の集いでは、「出合い」も一つの醍醐味です。普段は離れた場所においても、森林が好きで、森づくりに取り組んでいるという同じ想いを持った仲間としてすぐに打ち解けることができず。懇親会では福島県の数々の銘酒も並び、たくさんの話に花が咲きました。



懇親会の様子

最終日の全体会

話題提供①

岩手大学の山本信次先生から、「震災被害から考える森と人との関係の再構築」と題してお話をいただきました。放射能の問題に関して、賠償やお金ということだけでなく、山村や森林とともに生きる人たちの暮らしを見つめ、そこに暮らす人たちの想いを汲んだ調査、発信を真摯に行ってこられた。その経験をもとにした具体的なエピソードについてお話をくださいました。

また、震災を経て「経済か、環境か」といった抽象的な議論では



話題提供 山本信次氏

なく、生きるということを前提とし、森林と人が地域の中で具体的な関係性をもう一度つくりあげていくことの重要性について話されました。

話題提供②

続いて、福島県森林保全課鈴木課長より、「福島県の森林・林業・木材産業を取り巻く課題と対応」と題して、福島県内の森林に対する放射線の影響や、時間の経過とともに森林の放射性物質が動態変化していること、それに対応した対策の必要性などについてご説明いただきました。また、森林除染に向けた今後の方向性や具体的計画などについてもご説明いただきました。海岸林再生に向けても課題と計画をお話いただきました。県として、気がつけば日本一の林業県を掲げ、様々な取り組みが行われていることを知る機会となりました。

アクションプラン作りと発表

その後、エクスカージョンごとに分かれ、これまでの視察、話題提供、話し合いを踏まえ、「福島県の森林の再生に向けて市民にできること」をテーマに、アクションプラン作りを行いました。時間が少し足りず、駆け足での話し合いとなりましたが、参加いただいた皆さん熱心に意見交換をされ、それぞれのアクションプランが出来上がりました。

アクションプランでは、福島県の森林にふれる全国からのツアーの開催（植林や林業業界を知るツアーなど）、

学校と連携した子ども森づくり活動の応援、中学生森づくりリーダーの育成、若者を森林ボランティア活動に巻き込む活動、木質バイオマスをさらに普及するために、薪ストーブの普及や集落の交流する施設として薪カフェづくりなど具体的なプランがまとまりました。

以上のような内容で三日間の日程を終えることができました。初日には時折小雨に見舞われましたが、全体としては天候にも恵まれ開催の目標をほぼ達成できたと思っております。

今回の全国の集いにおいては実行委員会の話し合いの中で、若者と一緒に活動を行うということを一つの柱として盛り込みました。そこで、エクスカージョンのレポーターとして大学生を中心とした若者にその役割を担ってもらいました。この若者レポーターが、事前の下見と学習を踏まえて積極的に取り組み、アクションプラン作りなどの話し合いの機会においてもまとめ役となつて活動してくれたことが良かったと思っております。

それぞれのエクスカージョンにおいてまとめられたアクションプランについて、各地区においてさらに検討を加え、具体的な行動に移しながらPDCAサイクルをまわすことができ、はじめて今回の全国の集いが成功だったといえると思っております。

今回の集いに協力してくれた若者レポーターとの交流を図りながら、各地区において今回多くの参加者とともにつくりあげたアクションプランの実現に向けて前進したいと思っております。

魚道付き治山ダム設置から十九年

魚道を清掃しました！

南会津農林事務所 東村 真太郎

日本の原風景に囲まれた南会津農林事務所管内は、イワナやヤマメなどの渓流魚が棲息する自然豊かな沢があるため、諸先輩方の御尽力により、生態系に配慮した魚道付きの治山ダムを整備してきました。

事業を行ったのは、南会津町手取地区と下郷町苅倉地区の一箇所、合計八基です。魚道にはいくつかのタイプがありますが、先進地調査を通じ、魚の遡上状況や施工の容易さ等を勘案して、アイスハーバー型階段式の魚道を採用しました。

整備完了後、両地区ともに設置効果を確認するために遡上調査を実施しています。マーキングしたイワナを最下流で放流し、後日に捕獲確認を行いました。両地区ともに遡上を確認されたことから、魚道の機能が認められているところです。

初期に整備した手取地区は、時間の経過とともにいくつかの問題点が明らかになったことから、次に整備した苅倉地区では、いくつかの改良を行いました。例えば、ダム上流部が満砂状態となり、沢筋が安定しにくくなったことに対しては、魚道側の放水路に深さ二〇センチの溝を設置して沢筋を安定化したこと、隔壁部での土砂の堆積による魚道機能の低下に対しては、隔壁部をコンクリートから取り外しができる角材の落込み方式に変更し、排土作業を容易に行えるようにしたことなどです。

この苅倉地区においても、事業完了後約十年が経過し、魚道内に土砂の堆積等が見受けられるようになってきたことから、平成二六年五月二八日に、地元南会津東部非出資漁業協同組合、下郷町農林課及び当事務所森林土木課の有志約二〇名が集って、魚道の清掃を行うことにしました。

なお、当地区の治山ダムは既に上流側が満砂しており、溪畔林が成立しつつあるなど、治山ダムとしての効果を発現していません。また、魚道についても特に破損した箇所はありませんでした。

清掃活動は、午前十時に現場付近の広場に集合して始まりました。漁協及び下郷町農林課からの御挨拶の後、参加者はスコップやチェーン

ソー、ボール等を担いで、現場まで徒歩で移動しました。最初に流木や落石等の大型の支障物を取り除き、その後、改良点である隔壁部の角材を外して魚道内への流入土砂の側溝上げを行い、最後に魚道内に水を通して残った土砂を排出しました。写真のとおり、清掃後は魚道内がきれいになり、一定の水流を確保したことがうかがえます。

今回の清掃活動により、魚道機能の回復を図ることができました。

通常、魚道は地元の漁業協同組合に維持管理をお願いしていますが、このようないっぺん清掃活動は多数の人手が必要となることから、今後もできる限り協力していきたいと考えています。

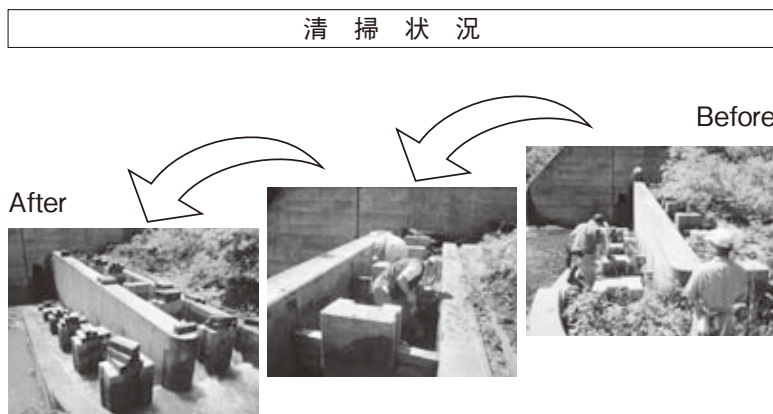
【表1 南会津農林事務所管内の魚道付き治山ダムの状況】

施工地	箇所名	概要	施工年度
南会津町八総字手取地内	「手取」	魚道付き治山ダム 5.0基 (アイスハーバー型階段式)	H9～13年度
下郷町大字澳田字苅倉地内	「苅倉」	魚道付き治山ダム 3.0基 (アイスハーバー型階段式)	H15～16年度
只見町大字只見字大赤沢地内	「大赤沢」	既設治山ダム改良 (カッティング)	H22年度

清掃状況



竣工時の苅倉地区の魚道付き治山ダム



「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 4 |

沢尻の大ヒノキ(サワラ)

樹木医 鈴木俊行



「沢尻の大ヒノキ(サワラ)」は、いわき市川前町上桶売字上沢尻地内に生育している。生育地の上沢尻地区は、いわき市の北西部の市町村境の小野町に近い場所で、磐越東線夏井駅前(の県道から北東へ四キロほど)の位置にある。生育地の地形は、南に向かって緩

やかに傾斜する斜面で、周辺は山間の畑や水田となっている。また、本樹は宇佐見家の個人所有で、根元南側には氏神様が三社、東側には樹冠下枝と接するように陸軍少佐宇佐見利治翁の石碑が建っている。本樹は、昭和五〇年八月七日に国の天然記念物に指定された。推定樹

齢は、八〇〇年とも一、〇〇〇年とも言われている巨樹である。

樹種は、指定名称が「沢尻の大ヒノキ」であるが、正しくは、ヒノキ科ヒノキ属のサワラである。ヒノキとサワラは一見してよく似ていて、一般的にこの違いを識別できず、通称ヒノキと呼ばれていることからこのような間違いが起こったものではないだろうか。

形状寸法であるが、平成二七年五月の私の計測では、樹高が二八・五〇メートル、幹周一〇・一〇メートル、根元周一三・〇〇メートルで、現在知られている我が国随一のサワラの巨樹である。さらに、国指定のサワラ、ヒノキは少なく、幹周九・〇メートルを超えるものは他にないことから、日本一のサワラの巨樹であることは間違いない。

主幹は、太いキヅタやツルマサキなどが絡まり、幹がまったく見えなかったが、十年ほど前に絡まったツル類の根元を切断するなどして取り除かれ、威厳のある幹が見えるようになった。主幹は、もともと根元近くから数本の分岐幹であったものが、肥大生長により巨大化して癒合し、単幹になったものではないか



と推察される。樹皮は縦裂して深い切れ込みとなり、巨大なコブもでき、まさに一、〇〇〇年を生きる仙人の面構えで凄みを感じさせる。

枝張りには、東九・二〇メートル、西七・八〇メートル、南八・六〇メートル、北八・二〇メートルと四方に均一に枝を伸ばし、枝の多くは枝垂れ、特に下枝は垂れ下がりが枝先が地面に接するものもある。樹冠の中間部は枝が多く繁茂し枯枝も多いが、樹勢は比較的良い。しかし途中から二本になった幹の頂部が枯れているほか、昨年の台風による枝折れが数箇所あり、傷口が未処置で、やや痛々しい樹姿となっている。

樹冠の中に入ると薄暗く、枯れ枝と垂れ下がった枝に囲まれていると不思議な感覚に陥り、まさに巨樹に神が宿ることを五感で感じ取ることができる日本一のサワラである。

都路地区の森林・林業の再生に向けた 取り組みについて

■県中農林事務所

林業普及指導員 丹 治 信 博

ふくしま中央森林組合の都路事業所では、震災前は積極的に針葉樹林の強度間伐、樹下植栽、しいたけ原木としての広葉樹林整備等の森林整備を推進してきたほか、しいたけ原木生産や加工場で加工したオガ粉や製材品等を出荷し、地域林業の振興を担ってきました。

しかしながら、原発事故の影響から、多くの住民の方が避難せざるを得なかったことや森林所有者の林業に対する意欲が未だ回復していないことなどから、森林整備面積が平成25年度に257haと震災前3カ年平均の24%まで落ち込んでいます。

また、原発事故前は年間約20万本生産していたしいたけ原木と約2,000～3,000m³生産していたオガ粉は、原発事故後まったく行われていない状況です。（※オガ粉はH23年度400m³の生産有）

都路事業所における約20年をサイクルとする広葉樹林の整備は、しいたけ原木の生産や販売により森林所有者に安定的な収入をもたらしてきただけでなく、森林の持つ公益的機能の維持と地域の雇用創出に結びついてきましたが、原発事故後はこうした営みが失われました。

このようなことから、当農林事務所では、森林林業の復興・再生を目指して自ら活動していこうとしている森林所有者や森林組合から指導協力を求められており、急務である都路地区の森林再生と林業生産活動の再開において、普及員が果たすべき役割はとても重要です。

普及員としては、始めに関係機関の情報の共有や課題の整理が必要と考え、当面は県が主催する形で、関係者を集めた打合会を開催することとしました。

事前に、関係者に打合会の趣旨を説明するとともに、同意理解を得るための連絡調整を行い、本年4月22日に都路地区を担当する福島森林管理署、田村市、ふくしま中央森林組合が参加した第1回の「旧避難指示区域等における森林・林業再生打合会」を開催しました。

第1回打合会では、森林組合から「林業復活による地域再生計画」とする課題を提案していただき、今後は、課題の解決策の検討、専門的知見からの具体策の検討、事業計画・実施における連絡調整などをこの会議で行っていくこととなりました。

具体的な課題としては、森林の放射性物質のモニタリング調査結果の把握、避難指示が解除になった区域内の森林整備の実施方法、間伐材や広葉樹材の利活用、しいたけ栽培の再開、林業労働力の確保、放射性物質を考慮した労働対策など多岐にわたり提案されていることから、普及員がコーディネートしてこの会議により検討を進めていきたいと考えています。



団体のページ



林業退職金 共済について



林業退職金制度は、林業の事業主が林業退職金共済事業本部（以下、林退共本部）と林業退職金共済契約を結び「共済契約者」となり、林業現場で働く従事者（以下、林業従事者）を被共済者とする退職金制度です。林業従事者の労働日数に応じて共済証紙を貼り、その枚数に応じて退職金が支払われます。

「林業を営む事業主」であれば、専業・兼業を問わず全ての事業主が共済契約者となることができ、共済契約者に雇用される林業従事者であれば、造林・伐木などの職種や月給制・日給制・出来高制等の雇用条件に関係なく加入することができます。「勤め先」が変わった場合でも、共済契約者に雇用される限りは被共済者として継続することが可能で、働いた日数実績のすべてを通算できるような仕組みとなっております。

「一人親方」の方も、任意組合を作ることで加入することができます。

なお、掛金は税法上、「法人では損金」、「個人では必要経費」として金額非課税（法人税法施行令第一三五条第一項、所得税法施行令第六四条第二項）となるほか、国からの補助として、新たに加入した林業従事者については、加入して初めに交付される手帳の六二日分の掛金が免除されるなどの優遇措置があります。

また、全国の地方自治体では、退職金共済加入事業体に対して補助を行っており、本県においても「福島県森林整備担い手対策基金事業（以下、基金事業）」で掛金の一部助成を行っております。

基金事業は、県が基金を活用し、労働安全衛生、福利厚生の実施及び技術、技能の向上等森林の整備を担う者の安定的確保に関する事業を実施し、林業の振興及び森林整備の推進を図ることを目的としており、その一貫として退職金掛金助成事業を行っています。

なお、基金事業では、退職金掛金助成

事業のほか、若年労働者等定着促進事業（若年労働者の賃金の一部助成）、雇用保険掛金助成事業（雇用保険掛金の一部助成）、林業一人親方労災保険掛金助成事業（労災保険掛金の一部助成）などの助成事業を行っています。

当連合会は福島県より事務を受託し、退職金共済掛金助成事業・若年労働者等定着促進事業・雇用保険掛金助成事業・林業一人親方労災保険掛金助成事業の申請の取りまとめをしており、平成二六年度においては次の申請がありました。

事業名	取組 事業体数	申請人数
若年労働者等定着促進事業	36	95
退職金共済掛金助成事業	53	484
雇用保険掛金助成事業	50	680
林業一人親方労災保険掛金助成事業	6	160

ぜひ林業退職金制度への取り組みを御検討いただき、助成金制度等も御活用頂きながら、林業従事者の福利厚生の充実、就労意欲の向上にお役立てください。

共済契約者の皆様へお知らせ（平成27年10月1日掛金改定）

平成27年10月1日より掛金日額が470円となる予定です。平成15年10月に掛金日額が460円となってから12年振りの掛金及び運用利回りの改定となります。

掛金日額の改定は林業退職金共済制度の安定的な運営のため、予定運用利回りが0.7%から0.5%に引き下げられる予定となっており、予定運用利回りの引き下げに伴う退職金水準の低下をできるだけ少なくするため、改定をすることとなりました。

掛金日額改定後の平成27年10月1日以降は、470円証紙のみの販売となりますので、9月30日就労分までの必要共済証紙の枚数をご確認いただき、証紙を購入して頂くようお願い致します。

なお、460円証紙が残った場合は、470円証紙に交換することが出来ますので、ご安心ください。

詳細につきましては、関係書類とともに皆様にお知らせ致しますので、ご確認下さい。

林退共の掛金改定に関するご質問等、林退共事務に係るお問い合わせにつきましては林業退職金共済事業福島県支部までお願い致します。

電話：024-523-0255（福島県森林組合連合会内）

公社だより

第2回定時社員 総会開催される



去る六月五日（金）、福島市「ふくしま中町会館」において、ふくしま緑の森づくり公社の第二回定時社員総会が開催されました。まず、鈴木正晃理事長より、「緑の森づくり新生プラン」に基づいた更なる経営改善に努めながら、当公社に求められている役割を果たし、緑豊かな森林を次世代に引き継いでいけるよう、役員一丸となって全力で取り組んでまいります。」と挨拶がありました。

また、来賓を代表して、日本政策金融公庫仙台支店農林水産事業統括三村嘉宏様からご祝辞をいただき、三島町の矢澤源成町長を議長に選出して議事に入り、平成二六年度の事業報告及び決算の承認、平成二七年度の賦課金の徴収、役員（理事）の選任など合計五議案について審議さ

れ、原案のとおり承認されました。平成二六年度においては、経営改善に向けた様々な取組をしっかりと進め、計画目標達成に向けて計画的・効率的な執行に努めながら経費削減に努め、林業関係団体等との連携を図りながら健全な森林づくりに取り組んでまいりました。

主な事業実績について、次のとおり報告されました。

①効率的な森林整備と森林再生への取組については、保育間伐を中心とした施業の重点化を図り、森林の再生に向けて市町村等と連携しながら、造林地の整備を進めました。

②木材生産販売対策の推進については、木材市場での委託販売など、積極的な木材販売に取り組んだ結果、販売額が目標を上回る約二、

四六五万円となりました。

③分収造林契約変更の推進については、「分収割合の変更」は進捗率が六五・七割に留まったものの、「契約期間の延長」の進捗率は八四・六割となりました。

④普及・啓発活動の展開については、林業労働安全や森林林業の普及啓発、素材生産・労働安全研修会を開催しました。

平成二七年度は、保育事業では、間伐を中心に八〇〇畝の森林の整備や、一、二、八〇〇畝の作業路開設・補修など約三億七、六〇〇万円の事業を実施することとしております。

引き続き、森林整備を通じて森林の再生や森林の公益機能の増進に全力で取り組んで参りますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

第三回理事会で役員 改選が行われました。

総会終了後、鈴木理事長の辞任等に伴う第三回理事会が開かれ、理事長に畠利行副知事、副理事長に秋元公夫福島県森林組合連合会代表理事会長が選出されました。



木材市況

素材の価格〈工場着価格〉（4月15日現在）

（単位：㎡当り千円）

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	10 (8~11)	2	(0~0)	0	9 (8~10)	△1	9 (8~11)	0
		10~13		並	スギ	12 (11~14)	0	9 (9~9)	△2	11 (9~12)	0	11 (9~14)	△1
	中	14~18	3.00	並	スギ	12 (11~13)	△1	12 (12~12)	2	11 (10~12)	△1	12 (10~13)	0
				並	ヒノキ	18 (14~22)	4	(0~0)	0	16 (16~17)	△1	17 (14~22)	1
		6.00	並	スギ	17 (16~20)	0	8 (8~8)	0	16 (14~18)	0	15 (8~20)	0	
			並	ヒノキ	30 (25~35)	3	(0~0)	0	23 (19~27)	0	26 (19~35)	2	
	20~28	3.65	並	スギ	12 (11~12)	△1	11 (11~12)	△1	11 (10~12)	△1	11 (10~12)	△1	
		4.00	並	アカマツ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	9 (8~9)	0	9 (8~10)	0	
		1.80	並	アカマツ	7 (5~8)	0	(0~0)	0	6 (5~8)	△2	7 (5~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (26~36)	0	31 (26~36)	0
並				米マツ	35 (35~35)	0	29 (29~29)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	28 (26~29)	0	28 (26~29)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	33 (29~37)	0	33 (29~37)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(5~5)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	
			並	広葉樹	(7~7)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	

三月の原木市場への入荷状況は、前月比二三割減（前年比七割増）の二七、九三〇立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比一五割減（前年比七割増）の二六、九九五立方メートルとなっている。
 四月の価格については弱含みとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		10 (9~11)	△1

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

「境の明神」は現在の国道二九四号線、栃木県那須町と福島県白河市をつなぐ旧陸羽街道にある。県境はさきで二つの神社が鎮座し、なる

「小ぶりの空間のなかに歴史が苔のしたにもぐりこんで息づいていて、たとえば北か南へ数メートル行っても、その気分がこわれてしまう。こんないい所へくるといっても、生涯で何度あるかわからない。」と記している。

福島県人にとって「白河の関」は訪れたことは無くても、知らない人はいないであろう。司馬遼太郎の街道を行くシリーズ「白河・会津のみち、赤坂散歩」の中で、白河の関は一般に知られている「白河の関」と、そこから北西五キロほどに位置する「境の明神」のどちらが本家であるかわからないと記している。



二つの関



福島県側から栃木県を望む「境の明神」の風景

ほど不思議なバランスをたもった空間である。道ばたには、関に対する地元の人々の思いが込められた石碑もあり、思わずニヤリとさせられる。歴史の真実はさておき、義経も芭蕉も越えた関で、昔日に思いをはせるのはいかがでしょう。お近くにお越しの際は是非！

県南農林事務所 酒井雄二

はなしの
ひろば
風
鈴

ありなしの風に風鈴さやかなり

湿った風にも風鈴は涼しげな音をだし、風のありかを教えてくれる。風鈴の起源は中国の竹林に下げた青銅でできた占風鐸だといわれている。占風鐸は、風の向き、音の鳴り方で吉凶を占う道具であり、日本には仏教建築文化とともに入ってきた。お寺のお堂の軒四方には「風鐸」が吊り下げられている。風鐸は、強い風が吹くと鈍い音がする。当時、強い風は流行り病や悪い障りを運んでくると考えられており、特に湿気の多い日本の夏には菌が繁殖しやすく、病の流行をおそれた。その風鐸の音には邪気除けの意味があるという。

さて、風鈴だが、平安貴族が魔除けで自分の家に下げたのがいまの形の始まりだという。岩手県の水沢駅では、六月〜八月までホームにたくさん南部風鈴を下げ「日本の音風景百選」に選ばれている。また、上毛鉄道（前橋市）では、電車内に風鈴をつるした風鈴列車、おふさ観音（檀原市）では、厄を払い心地よい涼を運んでくる二、五〇〇個以上の風鈴で「風鈴まつり」がおこなわれる。

風鈴は、材質によって違う音色をもつが、「涼しい風情」と「魔除けの道具」と考えると小さな風鈴が果たす季節の役目はとても大きいのかも知れない。今、窓際にガラスの風鈴を下げてみた。かつて、風鈴は、燃えさかる炎の中で形づくられてきたのだから、なんて華奢で涼しげな音だろう。そのひとつの音が愛おしく思える瞬間である。

表紙の写真



「尾瀬で出会った天使」
第29回ふくしま緑の写真コンクールで金賞を受賞した星洋一さん（南会津町）の作品。

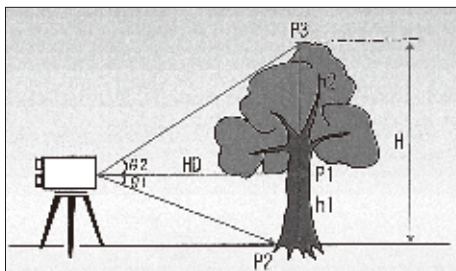
編集

発行人

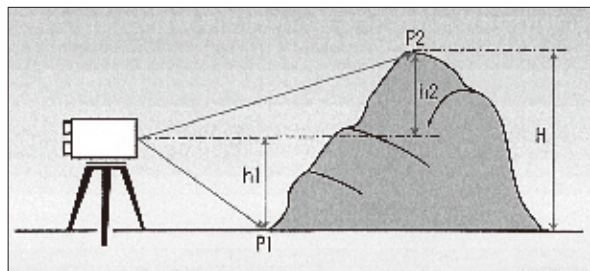
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
相馬 雅俊
陽光社印刷株式会社
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

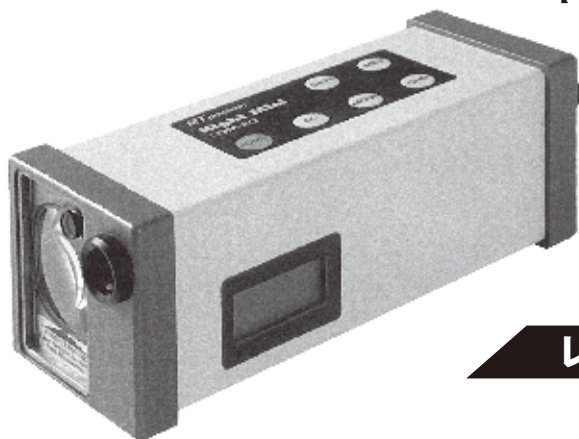


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定寸法	高さ・水平距離・斜距離
重量	W64・H64・D180
付属品	650g
	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

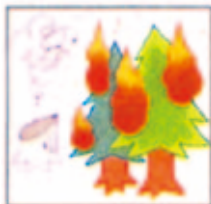
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



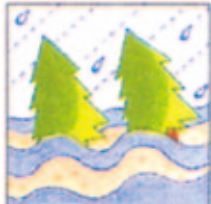
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



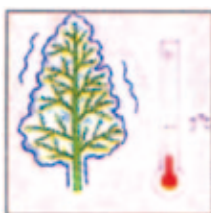
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
- または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

ヤマビル対策に

マリックスター(駆除剤)

蜂さされ防止

ハチノックL(楽退治)
ハチノックS(携帯用)

タケを駆除する

クロレートS

大切な日本の松を守る 住化グリーンの林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1